



令和3年 5月 第2号
西方中学校 図書室



桜の季節から、窓から見える木々の緑まぶしい季節になりました。1年生は、新しい校舎、新しい通学路、部活動と、新しいことがたくさん始まりましたね。2、3年生も学年が一つあがり、新たな気持ちで日々生活していることでしょう。図書委員さんも新メンバーに変わり、図書室でも新たなことにドンドン挑戦していきたいと思います。

さて、今月の図書室の期間展示は「学園・青春小説」特集です。胸がキュン♥涙がホロリ…、学園ミステリなどなど…、ドキドキワクワクするような物語をあつめました。ぜひ、心地よい風が吹き抜ける図書室へどうぞ！

図書館のキホン

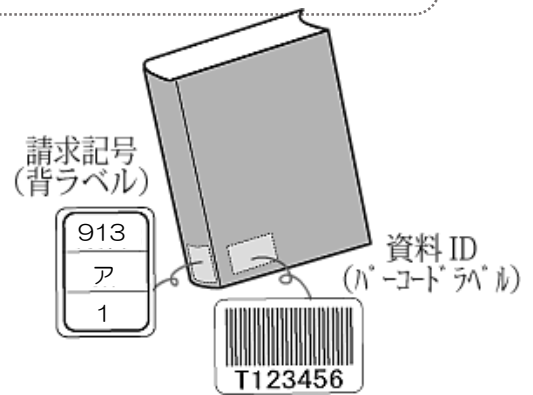
「図書館で借りた本が置いてあった場所を忘れちゃった！」でも、大丈夫。本をよく観察し、本の分類やならべ方のルールの基本を知るとあっという間に本の住所が分かっちゃいます。

1. 「バーコードラベル」

図書館の本には、資料IDとなるバーコードのラベルが貼られています。

2. 「請求記号ラベル」又は「所在記号ラベル」

これは、本の所在を表す大切なラベルで、「請求記号ラベル」などと呼ばれています。本の所在はラベル上段の番号で表示されていますが、これは「日本十進分類法（NDC）」という本の分類法で決められた数字で、分類番号と呼ばれています。分類番号によってラベルの枠が色分けされている場合もあります。



< 請求記号ラベルの見方 >

1 段目】 NDCの「分類番号」

例えば「913」の読み方は、「きゅう・いち・さん」と読みます。数字にはそれぞれ意味があります。「9」は文学「1」は文学が書かれた言語（1は日本語）3ケタ目の「3」は文学のジャンル（3は物語）「9.1.3」のラベルのついた本は、すべて日本の物語の本ということがわかります。

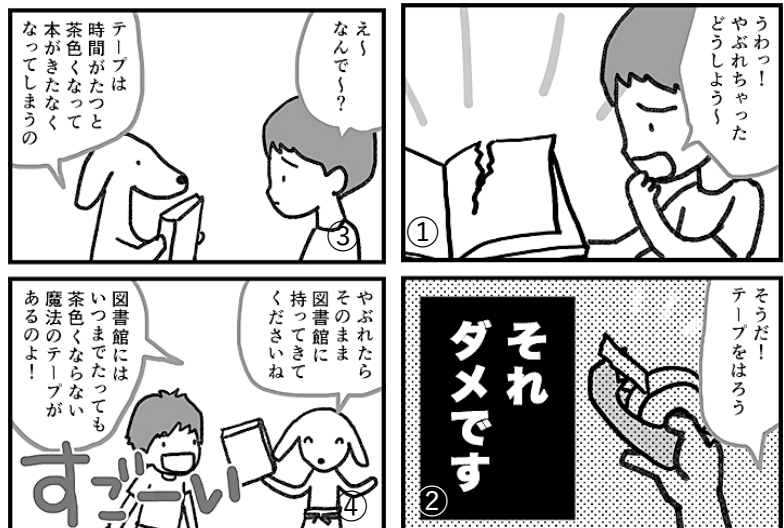
2 段目】 「図書記号」図書記号とは、その本の著者名を表す記号で、基本的には著者の名字の頭文字が記載されます。

3 段目】 「巻冊記号」シリーズの番号や「上巻、中巻、下巻」などが「1、2、3」のように数字で記載されています。

本が故障（破れ）してしまったら…

< 本が破れてしまった！ >

まず、本を修理する時に絶対に使ってはいけないものが“セロハンテープ”。透明だし、修理にはピッタリなんじゃないの？と思う方も多いかと思いますが、実はセロハンテープは紙を短時間で劣化させてしまい、直す前よりも悪い状態にしてしまいます。しかも、茶色く変色したテープの痕は消すことができません。もし本が破けてしまったら、そのまま借りた図書館へ持って行きましょう。



※フッカーのこです(笑)

うら面もあります →

「学園・青春小説」



今をもっと、好きになる。

今月の展示の中から Pick Up !

涼宮ハルヒの憂鬱^{ゆううつ} 谷川流 著

「ただの人間には興味ありません。この中に宇宙人、未来人、異世界人、超能力者がいたら、あたしのところに来なさい。以上」高校入学早々ぶっ飛んだ挨拶をかましたえらい美人、涼宮ハルヒ。ハルヒと出会ってしまったことから、気づけば俺の日常は非日常になっていて!?



「氷菓」(古典部シリーズ1)

米澤 穂信 著

いつのまにか密室になった教室。毎週必ず借り出される本。あるいはの文集をないと言い張る少年。そして『氷菓』という題名の文集に秘められた三十三年前の真実一。何事にも積極的に関わろうとしない“省エネ”少年・折木奉太郎は、なりゆきで入部した古典部の仲間に依頼され、日常に潜む不思議な謎を次々と解き明かしていくことに。さわやかで、ちょっぴりほろ苦い青春ミステリ。

「くちびるに歌を」 中田永一 著

長崎県五島列島のある中学校に、産休に入る音楽教師の代理で「自称ニート」の美人ピアニスト柏木はやってきた。ほどなく合唱部の顧問を受け持つことになるが、彼女に魅せられ、男子生徒の入部が殺到。それまで女子部員しかいなかった合唱部は、練習にまじめに打ち込まない男子と女子の対立が激化する。一方で、柏木先生は音楽コンクールの課題曲「手紙~拝啓十五の君へ~」にちなみ、十五年後の自分に向けて手紙を書くよう、部員たちに宿題を課した。



PICK UP 3 TITLES

誰もがハマる(!?)「いまよむ文学」今月の記念日にちなんだ「今月の本」ぜひ読んでほしい「海外文学」「古典文学」… 毎月3つのタイトルで魅力的な本を紹介します。



蜜蜂と遠雷
恩田 陸/著



「俺はまだ、
神に愛されているだろうか?」



図説世界史を変えた
50の機械
エリック シャリーン/著



5月18日は「国際博物館の日」です。
国際博物館の日は、日本では2002年から取り組みが始まり、多くの博物館が無料開放やイベントなどさまざまな記念行事を行っています。

人類が生み出した機械を通して、文明の発展をたどる。第一次産業革命の傑出(けっしゅつ)した発明から、通信に革命を起こした機器など様々な項目をとりあげる。機械がその時代における可能性を押し広げてきたこと、その歴史的、技術的背景を写真とともに解説。



赤毛のアン
ルーシー・M・モンゴメリ/著



「曲り角をまがったときに
なにがあるのかは、わからないの。」

ちょっとした手ちがいから、グリーン・ゲイブルスの老兄妹に引き取られたおしゃべりが大好きなやせっぽちの孤児アン。初めは戸惑っていた2人も、明るいアンを愛するようになり、夢のように美しいプリンス・エドワード島の自然の中で、アンは成長してゆきます。元気な人參あたまのアンがまきおこす愉快な事件の数々に、人生のきびしさと温かい人情がおりこまれた永遠の名作。

3年ごとに開催される芳ヶ江国際ピアノコンクール。「ここを制した者は世界最高峰のS国際ピアノコンクールで優勝する」シンクスがあり近年、覇者である新たな才能の出現は音楽界の事件となっていた——ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、そして音楽を描き切った青春群像小説。